



発行所 長岡鉄工業青年研究会

編集者

事務局

新潟県長岡市坂之上町2丁目1番1号

発行責任者 市川 光

中津山隆博・倉品 英行・高坂 壮

長岡商工会議所ビル5F

編集責任者 大塚 淳 史

田原 裕巳・永井 邦幸・皆川 政男

長岡鉄工業青年研究会

宮下 玲子・山口 淳

印刷所

TEL 0258-36-6982

(株)北越時報社 長岡市住吉2丁目5番13号

新年度を迎えて

長岡鉄工業青年研究会
平成三十年年度会長 小林 史幸

平成三十年年度長岡鉄工業青年研究会会長の務めさせて頂くこととなりました株式会社小林製作所の小林史幸です。一年間、宜しくお

願い申し上げます。歴史と伝統のある当会の会長を務めさせて頂くことに、また諸先輩方の後を任されることとなり、改めて責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。これまで当会が継続してきましたのはOB会員の皆様のお力添えと、関係諸機関のご支援、そして会員の皆様方のご協力の賜物であると心より感謝申し上げます。さて、昨年の日本経済を顧みますと、海外経済の緩やかな回復を背景にした輸出や生産の増加とともに、株高による資産効果や消費者マインドの改善もみられ消費は緩やかに持ち直し始める等、明るい兆しが見え始めております。その反面、グローバル化の中、景気が海外経済によって大きく左右されることや、国内労働人口の減少による人手不足など不安要素も内在しております。長岡地域を顧みますと仕事が増えてくるのではという期待感がある一方、原材料の高騰に起因する仕入れコストの上昇や人手不足などが問題となっております。近い将来を考えてみても、人口減少による国内の市場規模の縮小や労働人口の減少が迫っており、人材確保がより厳しさを増すことが予測されます。そのような中、国内市場で生き抜くためには、各企業の自助努力の

みでは限界があり、今後は、企業間の協力関係がさらに重要な要素となってきたております。そのような協力関係を構築していくためには、相互理解が必要であり、それは自身の強みを相手に伝える力によって得られると考え、その力を強化し、相互理解を実践していくために平成三十年年度の活動テーマを「発信」といたしました。各事業を通じて知識を学び経験をすることで成長するきっかけとなればと考えております。

一、人材育成事業

企業間や地域において当会および会員企業のことを知らない人たちは残念ながらたくさんいらっしゃると思います。まず自身や所属する組織を相手に知ってもらうということが、お客様や関係する組織との協力関係を構築する可能性に繋がります。顧客に選ばれる企業になるためには何をどのように発信していけば相手に伝わるのか、また、自社の強みは何なのかを見つめ直し学び考えることができるような事業を行いたいと考えております。

二、渉外事業

本年度も引き続き当研究会を外部に向けて発信していきます。長岡市は市内に大学が三つもある大変恵まれた環境にあります。大学と交流を行い先生や学生へ向けて当会や会員企業を知っていただく機会を設けることで長岡には多くの素晴らしい企業があることを改めて知っていただき、今後の技術向上や人材育成・人材確保などに向けての協力関係に繋げることができたらと考えております。

また、次世代を担う子供たちへ向けて、ものづくり体験教室を行うことで、ものづくりの楽しさを発信し、一人でも多くの子供たちにもものづくりに興味や関心を持ってもらえるようにできたらと考えております。

三、地域貢献・交流事業

本年度も地域貢献事業として、OB会員の皆様や、趣旨にご賛同頂いた皆様、そして会員企業のご協力のもとで行われる「屑鉄集め」を実施いたします。本事業を実施する際には、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

地域交流事業として、長岡まつり前夜祭の越後長岡慰霊神輿渡御に参加いたします。本年は当会が神輿渡御に参加して二十五周年を迎えます。伝統のオリジナル神輿と纏を通じて、地域の皆様に鉄工青研の団結力をアピール致します。

また、他団体交流事業を継続し、柏崎、小千谷の若手団体と本年も交流を深め、情報交換や技術の向上に努めてまいります。

以上の事業を柱として当会の運営を行ってまいります。これから数年間で会員が大幅に減少していきます。各事業を通じて会の活動を発信し入会したくなるような魅力のある会にできるよう努めてまいります。もし、ご興味を持たれていらっしゃる方がいらっしゃるようでしたら、ご一報いただけると幸いです。現役会員の皆様には各事業に積極的に参加することにより、自己の成長に繋げていただきたいと考えております。一年間、宜しくお願い致します。



一年を振り返って

長岡鉄工業青年研究会
平成二十九年度会長 市川 光

平成二十九年度は、『共に学び、共に創る』をテーマとして、新しい交流や例年行われていた事業でも違う形で行う様に一年間各事業を行って参りました。

新しい事業としては、今まで交流が無かった長岡大学様との交流セミナー、双葉寮での初めてのものづくり体験教室、三団体交流事業では、例年は役員のみで行っていましたが、今年は全会員が参加できる形で行い、各団体の活動内容の紹介や、意見交換会を行い、更なる親睦を深めることができました。

また、神輿渡御、屑鉄集め、研修旅行などの例年行われている事業についても各委員会がテーマを念頭に置き、意見を交わして、いかに良い事業に出来るかを考え、様々な取り組みをしてくれました。次年度以降は、今年度の反省を踏まえ、そして、会員数減少などこれから懸念される問題点を考慮しながらも、より良い事業を運営していただきたいと思っています。私個人として、入会前は何かをしている会なのかとわからず、入会しても指示された仕事をただこなすだけなのだろうと思っていました。しかし、平成二十六年に総務委員長を任されて以来、継続して役員を任せられ、最後に会長職を務めさせていただくまでになりました。様々な不安がありました。やってみなければ

わからない事もあるだろうと思い、推薦を頂いた際には良い機会をいただいたと考え、積極的に役員をしてきました。

会の活動にどれだけ積極的に参加するかで、人脈作りや経験を積める内容はかなり違ってきます。私は長岡市の出身ではないということもあり、入会しなければ出会えなかった方が多く、知ることが出来なかった情報が多々ありました。

現役会員の皆様、せっかく入会したのですから積極的に事業に参加して様々な経験をして下さい。無駄になることは無いと思います。そして、経験したことが本業に活かせるものがあるはずですよ。

結びに、お世話になりました関係各機関・団体の皆様、そして、会員の皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。そして、長岡鉄工業青年研究会の益々の発展を祈念しまして私の挨拶とさせていただきます。

委員会事業報告

総務委員会

委員長 大塚 淳史

今年度の総務委員会では例年通りの春の卒業式から始まり、納涼会、忘年会、新年会、定期総会を中心に行っていました。

御来賓を招いての事業となりました新年会では多数の御来賓の方々から出席を賜り、お話をさせていただく中で当会の歴史と伝統を再認識するいい機会となりました。各事業共、大変多くの会員の皆

様から参加して頂き盛大に執り行うことができました。本当にありがとうございました。

総務委員会として組織運営の土台としての役割を担うために、「迅速、正確」を心掛けて臨んだわけですが通常業務である役員会の運営や各種事務業務につきましても私の至らない点があり反省することも多い中、所属委員の皆様のサポート、役員の皆様のフォローやアドバイスのおかげで職務を全うすることができました。大変感謝申し上げます。

これらの事業、業務を通し相互扶助の精神、青研のすばらしさを実感すると共にたくさんのことを学ばせていただきました。私自身非常に中身の濃い、充実した一年とすることができました。

最後に会員の皆様には経験の浅い私を温かく見守っていただき、また多大なるご協力をいただきまして一年間活動することができました。本当にありがとうございました。

◆卒業式

平成二十九年四月八日(土)、かも川別館様にて卒業式が行われ今回三名の先輩が御卒業されました。卒業生からは青研での思い出の他、現役会員に向け感謝と激励のお言葉をいただきました。

引き続き行われた懇親会では現役会員が卒業生を取り囲み大変盛り上がる事ができました。

雨天の為胴上げはできませんでしたが今まで尽力していただいた卒業生を感謝の気持ちを含めて花道で送り出し、現役会員、卒業生共に思い出に残る卒業式に

なっただけではないかと思えます。

御来賓 中越鋳物青年研究会

卒業会員 三名 安藤 啓太様
七里 大樹さん
真島 洋紀さん
矢尾板大樹さん

青研会員 四十四名

(大塚 淳史)



◆納涼会

平成二十九年八月二十六日(土)、エストマゴ様にて納涼会が開催されました。会員同士和気あいあいと談笑されていた姿が見受けられ、これからの青研事業への取り組みにおける活力を養えた時間であったと思います。

最後に、参加された皆様のご協力により、無事会が終えられましたことに感謝いたします。

会員 三十四名

(田原 裕巳)

◆忘年会

平成二十九年十一月二十五日(土)、酒味の郷いさり火様にて、忘年会が開催されました。慌ただしさが増す年末にも関わらず、多数のご参加をいただき非常に盛り上がりました。会員同士はもちろんオプザーバー出席の方とも親睦を深められ、有意義な忘年会だったと思われます。最後にご参加、協力していただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

会員 三十六名

オプザーバー参加 一名

(倉品 英行)

◆臨時総会・合同新年会

平成三十年二月二日(金)、臨時総会・合同新年会を行いました。

今年度は、会場をホテルニューオータニ長岡様へ変更し、雪が多い中たくさんのお来賓の方から出席いただきました。中越鋳物青年研究会様との合同新年会では磯田市長をはじめ、御来賓の方々には大変ためになるお話を頂戴しました。臨時総会も満場一致によりスムーズに進行が進み、予定時間内に終了することができたのも会員の皆様のおかげでございました。ありがとうございました。



臨時総会

出席

三十九名

委任状による出席

六名

(合計四十五名)

合同新年会

御来賓

六名

鉄工青研歴代会長

十名

鉄工青研会員

三十五名

中越鋳物青研会員

十五名

(合計六十六名)

(宮下 玲子)



◆定期総会・卒業式

平成三十年四月十四日(土)、かも川別館様にて、定期総会・卒業式を行う予定です。

研修委員会

委員長 加藤 芳夫

本年度の研修委員会では基本方針でもありました、新しい知識を学び創造して、会員と共有した一年間の事業を行ってま

いりました。

六月に「お客様の心を開く接遇コミュニケーション」を題して、女性講師を招き女性視点からの接遇に関する講演会を開催しました。

十一月の「研修旅行」では、世界的に活躍されている大手企業を見学することをテーマに、富士重工業(株)(スバル自動車)で自動車の製造ラインや歴代スバル車の歴史等を見学し、日本科学未来館では日本の最先端科学技術を視察してまいりました。

各事業は担当者が詳しく記載しておりますので御一読をよろしくお願い致します。

研修委員長を一年間務めさせて頂きましたが、あらためて事業に参加された会員が青研会員としての自覚を持ち、全ての事業でご協力頂き感謝しております。市川会長に委員長として指名を頂き、自分らしい事業をテーマに、両副会長と研修委員全員からサポートして頂き、団結力を感じた一年間となりました。

最後に青研会員の皆様にも大変お世話になりました事を深く感謝し御礼を申し上げます。

◆研修旅行

今回の富士重工業(株)群馬製作所では、自動車のプレス・溶接・組立ライン等を見学し、効率アップを図る為の社内レイアウトの見直し、工程集約などの標準化を積極的に行っている現状を視察してきました。余剰在庫を抑え工場稼働率を保つ方針、未来に対する先見を伺い、普段では触れる機会が少ない部分を経験値として吸収できたのではと参加会員が感想



を持っていたのが印象的でした。

日本科学未来館は、ロボティクスとAIの融合、発展、ESやIPS細胞、ニュートリノなどの現状の研究報告、また将来の活用方法など紹介等を視察してきました。パーソナルモビリティ「UNI-CUB」(ユニカブ)の試乗体験に参加した会員、ASIMO等が一般家庭などでどのように活躍するか実演を交えた説明に参加した会員など、自由見学時間を有効活用できていたようでした。

今回の研修旅行を通じて「会員の相互扶助」の精神に基づき、会員の親睦を深めることができたと思います。旅行初日は朝六時出発と早い時間にもかかわらず、定刻より前倒しの集合、出発ができ、移動中も明るい盛り上がりのある道程を過ごせたこと、ケガ、急病者も出なかった事、無事にご家族へたいたいと参加会員が報告できたこと、何よりだったかと思

います。

最後に、平日を含めた行程でご多忙の中皆様に参加して頂きまして、心より深く感謝申し上げます。

参加者 二十四名

旅行日程

平成二十九年十一月十七日～十八日

(萩野 浩)

◆講演会

平成二十九年六月十六日(金)、まちなかキャンパスにて『お客様の心を開く接遇コミュニケーション』と題した、接遇マナーや対話スキルに関しての講演会を開催しました。当日は多くの皆様からご参加頂くことができました。

講師には個人の成長や組織活性化を目的とした企業研修および公演を多数実施している株式会社エンパワー21で代表取締役を務める能勢みゆき様をお迎えし「お互いを思いやり、良い関係を築こうとする気持ちを形に表すことで、信頼関係の向上に繋がる」との話聞き、実際に実技を交えて分かり易くご講話いただきました。また、能勢様は客室乗務員や大手人材派遣会社の講師の経歴もあり、豊富な知識と経験から様々な質問にも答えて頂きました。

今年度の活動指針の一つである「共に学び、共に創る」ということから、日頃行っているビジネスマナーを振り返り、さらにお客様との関係をより良くする対話スキルを学び身につける良い機会になったのではないかと思います。

当日はご多忙の中、皆様からご協力を賜り、ご参加頂きましたことを改めて感謝申し上げます。

参加者 セミナー 二十六名

懇親会 二十六名

(長谷川 雅利)



実行委員会

委員長 小笠原 昭範

今年度の実行委員長を引き受けるにあたり、不安な思いもありましたが「やってみよう」という強い気持ちを持って臨みました。

そこで、委員会内での意思疎通を明確にし、各々が各事業への関心を持つ事がより多くの皆様への参加意欲に繋がると考え、失敗を恐れずに前を向いて確実かつ効率の良い事業運営を目指して四つの

事業に取り組んでまいりました。

卒業生追出しゴルフコンペでは、天候にも恵まれ卒業生との青研最後の事業を存分に楽しむことができました。夏季ゴルフコンペでは、多くのOB会員の皆様よりご参加を頂き、親睦を深めながら楽しい一日を過ごすことができました。

ゴルフを始める会員も増える中、OB会員の皆様と親睦を深める貴重な時間となるゴルフコンペをこれからも大切にしていきたいと思っています。

そして三十年以上継続している屑鉄集めでは、多数の企業様のご協力を頂きまして多くの浄財を集めることができました。会員数の減少により回収トラックの確保が懸案事項と考えておりましたが予想以上に多くのトラックが集まり万全の陣容で無事に回収作業を行うことができましたと思います。寄付贈呈式では、三施設の皆様から笑顔で迎えられとても喜んでもらえたと感じております。また、長岡市より長年に渡る本事業の功績を称えられ感謝状が授与されました事をご報告させて頂きます。この歴史ある社会貢献事業を継続することの意義を知る貴重な経験を行うことができました。ご協力頂きました誠にありがとうございました。

私自身、実行委員会はこれまでの青研活動の中で最も多く携わってきた委員会でしたが各事業を準備するうえで今までと違う立場、視点で進めて行かなければならず、戸惑いの中での船出となりました。しかし多くの仲間に関わられながら進めることができ、「共に学び、共に創る」の会長方針の下で多くの事を勉強させて頂いたと感じております。

最後に、一年間事業を運営する中で、

市川会長をはじめ役員の皆様にはご理解とご協力を頂き、南副委員長をはじめ実行委員会の皆様にはご苦勞をお掛けしましたが一緒に事業をやり遂げることができたことを感謝しております。本当にありがとうございました。

◆卒業生追出し「ゴルフ」コンペ

平成二十九年四月二十二日(土)、石地シーサイドカントリークラブにて卒業生追出しゴルフコンペを実施致しました。

当日は天候にも恵まれ、卒業生はコンペ二名・表彰式三名の参加となりました。多くの現役会員の皆様から参加を頂き、ゴルフを通して卒業生の皆様と最後の事業として楽しい思い出ができ、気持ち良く送り出せたのではないかと思います。皆様から御協力頂き感謝しております。誠にありがとうございました。



参加者 ゴルフ 十七名

表彰式 二十四名

優勝者 渡辺潤一郎君

(南 聡史・門倉 侑大)

◆夏季ゴルフコンペ

平成二十九年七月二十二日(土)、長岡カントリー倶楽部にて夏季ゴルフコンペを開催致しました。

当日は天候にも恵まれ、コンペにはOB会員様十八名、現役会員十六名の皆様から御参加を頂きました。そして、ゴルフ・表彰式を通してOB会員の方々と和やかに親睦が図れたのではないかと思います。皆様から御協力頂き感謝しております。誠にありがとうございました。

参加者 ゴルフ 三十四名

表彰式 三十五名

優勝者 小川 雄二様

(今枝 龍哉・小林 誠・富川 和則)



◆屑鉄集め

平成二十九年九月八日(金)、青研参加者三十名、屑鉄提供企業様、三十社にて屑鉄集めを実施致しました。

会員減少の中、三十名もの参加を頂き、当初懸念しておりましたトラックの確保においては八台、午前中の悪天候の中の事前回収には八名もの方から御協力頂きました。

一日を通して事故・怪我等無く、無事に作業を完了できたことを大変感謝しております。これもひとえに屑鉄集めに対する御理解・御協力を賜った協力企業の皆様及び、回収作業を行って頂いた青研会員の皆様のお陰です。誠にありがとうございました。

(佐々木 健司・小沼 啓)



◆福祉・児童養護施設寄付贈呈式

平成二十九年十二月十九日(火)、福祉・児童養護施設に寄付贈呈式を行ってまいりました。

柿が丘学園では、子供たちの合唱から始まり歌遊びや恒例のソリ遊び、贈呈品の遊具と一緒に遊びました。最後に子供たちからお礼に手作りの色紙・首飾りをいただきました。もみの木工房つばさでは、贈呈品の使い道の説明や施設内の作業を見学させて頂き、施設利用者の代表者よりお礼の手紙を頂きました。双葉寮では、多くの子供たちが笑顔で迎えてくれて贈呈品のタンスを使う予定の子供の嬉しそうな笑顔を見ることができました。また、長岡市より長年に渡る本事業の功績を称え感謝状を授与されました。



本事業を通じて改めて屑鉄集めを継続する理由を認識させられ、子供たちの笑顔の為に継続したい思いがより一層強くなりました。ご協力ありがとうございました。

(小笠原 昭範)

まつり委員会

委員長 鳥越 太郎

平成二十九年八月一日(火)、長岡まつり慰霊神輿渡御に参加いたしました。当日はOB、一般参加者を合わせて百十四名もの方々に参加頂きました。また運営に際しまして、OB企業様を始め、関係各所より御協賛や御支援を、当日には心遣いや激励を頂きました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。本年度は纏頭部のリニューアルと、馬回り台車のLED装飾を施しました。仁和賀パレードへの参加機会もあり、青研オリジナルの神輿、纏、台車をアピール出来たと思います。

委員長として各種交渉や手配、調整を行う中で、会員の皆様から協力を頂いた事も多かった事です。一日と迫るこの神輿渡御が楽しみであり、また不安でもあります。そんな私に三役を始め、まつり委員の皆さんが支えてくれました。運営当日に不手際もあり迷惑をおかけすることもありました。怪我や大きなトラブルがなかった事がなによりでした。

会員として最後の年で大役を任せて頂き、委員長として静止揉み時の馬台より皆さんの威勢の良い掛け声と澁刺とした姿を見た時、改めて鉄工青研神輿渡御が



多くの方々に支えられていると実感しました。今後会員の減少による神輿渡御への参加も懸念されますが、引き続き皆様より御参加、御協力を頂きます様お願い申し上げます。

今後とも鉄工青研の神輿渡御への御協力、ご尽力を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

参加者 百十四名

(会員 四十三名 OB 十八名 一般 五十三名)



渉外委員会

委員長 山本 友紀

今年度の渉外委員会は今後の活動を見据え、長岡周辺の施設や団体、教育機関

との交流を目的に事業を展開して参りました。

まず五月に、長岡大学様より中小企業診断士として大学内外問わずご活躍されている栗井准教授をお招きし、我々若手の経営者にとって必須である事業承継の中から、『法人資産及び、個人資産の引き継ぎ』に着目してご講演頂きました。

実例を基にご講話頂き、参加した会員にとって重要な経営課題であると再認識する事ができた事業となりました。

八月には、例年の屑鉄集めのボランティア事業の繋がりにから、双葉寮にて、ものづくり体験教室を開催致しました。在籍の児童や園児たちに向け、車のおもちゃ作りを行い、組立だけでなく、加工体験もしてもらいたい私のたつての希望もあり、曲げ加工から体験してもらう、プレス加工・組立体験を行いました。自分たちが加工し、組立して完成させたおもちゃを手にとって嬉しそうに走らせて周る子どもたちを見て、ものづくりに関して少しでも興味を持ってもらえたらと願う事業でありました。企画から当日の運営まで試行錯誤の繰り返しでしたが、清水副委員長を初め、渉外委員全員が一丸となって完成させたおもちゃは当委員会の自慢の逸品です。

また、周辺地域の団体との繋がりを目的として、十月に柏崎青年工業クラブ様、小千谷鉄工電子協同組合木曜会様、長岡鉄工業青年研究会の三団体による交流会を開催致しました。同じ中越地区にて事業を展開する同志として大いに語り合い、親睦を深める事ができた有意義な交流会となりました。交流を通じて拡大したこの縁は、今後も継続して育んでいくべき

であると感じております。

最後に、一年間委員長として事業の先頭に立たせて頂きましたが、強く感じる事は一人では何も成すことが出来なかった、と言う事です。三役、役員、渉外委員や会員皆様のお力添えなしでは何一つ事業を遂行できなかったと思います。不出来な委員長の下で、それでも支えて下さった全ての方々に感謝致しております。一年間、本当にありがとうございました。

◆長岡大学交流セミナー

平成二十九年五月三十日(火)、まちなかキャンパス長岡五〇一会議室にて、鉄工青研初の試みである長岡大学様との交流セミナーを行いました。長岡大学教務学生課の井比課長より、中小企業診断士としての資格を有し、事業承継のプロフェッショナルである同大学准教授の栗井様をご紹介頂き、「法人財産・個人財産の移転」をテーマにご講演を賜りました。

当会でも世代交代の波が訪れ始めている中、事業承継問題は極めて身近な経営課題であり、各社学すべき点の多い議題でした。モデルケースや栗井准教授がコンサルティングされた実例を基にご講演頂いた内容は、各々に置き換えた場合に何れかに当てはまる内容であり、今後の対応を学ぶよいきっかけになったと思います。

懇親会ではご講演で聞き足りなかった内容を聞くなどして講師の方々と囲み、終始和やかな宴席となりました。

当会にとって長岡大学様との繋がりを築く第一歩として、盛況な事業であったと思います。

最後に、多数の会員の方々より御参加頂きましてありがとうございました。

参加者 交流セミナー 二十四名
懇親会 二十三名
(井上 航)



◆双葉寮交流事業

平成二十九年八月二十二日(火)、児童養護施設双葉寮にて「双葉寮交流事業」を開催致しました。

この度の事業は在籍の児童向けに、ゴム動力で走るアルミ製ミニカー「鉄1ダッシュ」の製作を行い、青研会員が手伝いながら、アルミ板の曲げ加工から体験してもらいました。

子供達は自分で加工し、組み立て、色塗りをしたミニカーを嬉しそうに見せて回り、走らせて遊んでいました。その楽しそうな表情を見て、ものづくりの楽しさを伝えることができたのではないかと思います。

さるを伝えることができたのではないかと思います。

そして、児童や職員の方々との交流により一層深める事ができ、大盛況のうちに終えることができました。

平日のお忙しい時間帯にもかかわらず、ご参加頂いた役員の皆様並びに、準備に尽力して頂いた委員の皆様、改めて深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

参加者 双葉寮在籍園児・児童 七名
双葉寮職員 六名
鉄工青研会員 十六名
(田中 祐樹)



◆三団体交流会

平成二十九年十月二十七日(金)、かも川別館様にて、当会と同じ中越地区において事業を展開する柏崎青年工業クラブ様

と小千谷鉄工電子協同組合木曜会様を長岡にお招きし、三団体交流会を実施致しました。

冒頭では各団体を紹介する場を設け、相互の活動内容を把握することができました。その後の懇親会では個々に情報交換を行うことができ、大変有意義な交流会となりました。

今後もこのような交流会を実施し、中越地区を盛り上げていきたいと感じました。お忙しい中ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

参加者 柏崎青年工業クラブ様 十一名
小千谷鉄工電子協同組合様 七名
長岡鉄工業青年研究会 二十二名
合計 四十名
(難波 徹)



平成30年度 長岡鉄工業青年研究会組織図



祝 ご卒業

- 市川 光
株式会社 オオイ
- 今枝 龍哉
有限会社 小林超硬研磨
- 佐々木 健司
株式会社 南陽精工
- 鳥越 太郎
西川工具株式会社
- 福島 正浩
合資会社 福島木型製作所
- 宮下 玲子
株式会社 小林
- 山村 誠
新潟竹内ハガネ株式会社
- (以上七名)

新入会員の紹介

- 平成二十九年度 四月以降入会
小根山 俊
株式会社 オネヤマ
〒九四〇―〇〇一六
長岡市宝三―三―十四
TEL二四―二八七四
FAX二四―五九三七
昭和五十七年四月十四日生
- 平成三十年度 四月一日入会
高坂 諒
有限会社 高栄製作所
〒九四〇―二〇二二
長岡市鉄工町一―一十九
TEL二七―一二七一
FAX二九―二九〇一
平成四年九月二十九日生